

関西最大級の駄菓子テーマパークが京都・二条駅に誕生！

「京・二条駅 昭和レトロ横丁 駄菓子ワールド」 2025年6月20日 グランドオープン！



創業96年、菓子・食品の卸売事業を展開する株式会社丸正高木商店（本社：京都市）は、令和7年6月20日、JR 二条駅前の商業施設「BiVi 二条」内にて、関西最大級の駄菓子テーマパーク「京・二条駅 昭和レトロ横丁 駄菓子ワールド」を開業いたします。本施設は、昭和の懐かしさを体感できる「レトロ横丁」を再現しながら、2000種類以上の駄菓子を取り揃えた大型売り場を展開。駄菓子を通じて、昭和世代の大人には懐かしさを、若い世代には新しい体験を提供し、修学旅行生や海外のインバウンド旅行者にも「新しい京都の思い出」として楽しんでいただける施設を目指します。

【施設概要】

- 名称：京・二条駅 昭和レトロ横丁 駄菓子ワールド
- 開業日：令和7年6月20日（金） プレオープン6月18日（水） 近隣住民
- 所在地：京都市中京区西ノ京梅尾町107 BiVi 二条内（JR 二条駅前）



京・二条駅 昭和レトロ横丁店内風景

【主な特徴】

特徴 1： 関西最大級（120坪）の駄菓子のテーマパーク

売り場面積は120坪、2000種類以上の駄菓子を取り揃え、関西エリアでは最大級の品揃えを誇ります。昔ながらのうめジャム、キャベツ太郎、うまい棒やさくらんぼ餅、ラムネなど、昭和を象徴する駄菓子が勢揃い。昔デパートの地下にあった懐かしいお菓子売り場も再現。子どもはもちろん、大人も「昔こんなお菓子あった!」と童心に返ることができます。

特徴 2： 昭和の商店街を再現！レトロな空間演出

駄菓子屋の軒先、赤電話、公衆電話ボックス、ダイハツミゼット、懐かしの広告看板、ブリキのおもちゃなど、昭和の時代背景を忠実に再現。まるで映画のセットのような雰囲気の中で買い物を楽しめます。フォトスポットとしても最適で、SNS 映えするスポットが多数設置されています。

特徴 3： 世代を超えて楽しめる昭和カルチャー体験

40代・50代の方には懐かしく、若い世代には新しい体験となる昭和カルチャーを発信。店内では、当時流行したアニメや歌謡曲が流れ、昭和の空気を肌で感じることができます。

【背景と狙い】

◆ 今年は昭和100年を迎え、「昭和レトロ」の可能性

昭和100年を迎え、昭和レトロブームが再燃し、昭和の雰囲気を楽しめるカフェや雑貨店が全国各地で人気を集めています。「京・二条駅 昭和レトロ横丁 駄菓子ワールド」は、この流れをさらに発展させ、「駄菓子」という文化を通じて昭和の楽しさを現代に蘇らせます。日本の伝統文化と昭和のノスタルジーを融合させた本施設は、国内外のお客様に「懐かしさ」と「新しさ」を同時に感じていただける場所となるでしょう。二条駅という新たな観光導線の拠点において、当施設は京都の新しい顔として、地域経済や観光活性化にも貢献することを目指しています。

※取材のお申し込みも随時受付中です。お気軽にお問い合わせください。

株式会社丸正高木商店 京都市中京区壬生神明町 1-8

TEL 075-801-0001 FAX 075-822-3939 携帯 080-1488-3543(高木)

メール info.takagi@takagi-064.com

ホームページ showa082.com

